

ご挨拶



上里町長
山下 博一

明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年中は、町民の皆さまに深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月からの「小中学校の臨時休業」、4月の「緊急事態宣言」、また町民の皆さまには「新しい生活様式」を実践していただくなど、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が一変した年でありました。

町民の皆さまには、感染拡大防止のための取組み、公共施設の使用制限、行事・イベントの中止等にご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

上里町民の暮らしと健康を守る緊急施策

町では新型コロナウイルスに対する町民の皆さまの不安や負担を減らし、地域経済を支えるため、独自の支援策『上里町民の暮らしと健康を守る緊急施策』およびその第二弾を実施いたしました。

いまだに予断を許さない状況が続いておりますが、今後の生活に対する町民の皆さまと町内事業者の不安を軽減するため、国や県の対策と連動しながら、町民の皆さまと一致団結し、この危機を乗り越えてまいりたいと考えております。引き続き、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

空の杜保育園の開園

このような状況の中で、明るい話題もありました。昨年4月に町立「空の杜保育園」が開園いたしました。園庭に子どもたちの元気な声が響いています。これからも更なる子育て支援の充実に取り組んでまいります。

町制施行50周年

本年11月には、「上里村」から「上里町」として町制を施行し、50年という大きな節目を迎えます。

当時約1万5000人だった人口は、現在3万人を超えるまでになり、大きく発展してまいりました。町では、この節目を迎えるにあたり、町民の皆さまに改めて町の誇りや愛着を深めていただくため、各種記念事業を実施いたします。

そして次の50年へ

昨年9月、地元有志の方々による「神保原町地区駅北まちづくり事業発起人会」が発足し、駅北口の活性化を目指した取り組みがスタートいたしました。今年、地権者の皆さまや関係区長などの方々にご参加いただき、まちづくり協議会を立ち上げ、具体的なプランや整備手法の検討に進んでまいります。

また、駅周辺地区への高等学校の移転についても、実現に向けしっかりと道筋をつけてまいります。

私は、上里町の魅力と風格を一段と高めるために、何よりも高崎線を挟んだ町の南北地域がそれぞれバランスよく発展していくことが必要だと考えております。「選ばれる町、住み続けたい町」を目指して、新たな50年の第一歩を、町民の皆さまと手を取り合って踏み出していく決意です。

年頭にあたり、皆さま方のご多幸を祈念致しますとともに、本年も格段のお力添え頂きますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年の頭



上里町議会議長
猪岡 壽

明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、令和3年の新春をご健勝にてお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

常日頃より、町議会に対しましてご理解とご支援を頂いておりますことに、感謝とお礼を申し上げます。

昨年、国内では自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症拡大と大変苦勞が多い年でありました。改めて、防災・減災、危機管理体制の強化の重要性を再認識するところであります。また、町民の皆さまには引き続き感染拡大予防の徹底をお願い致します。

一方、町議会では5月臨時会において、町議会議長・副議長選挙が行われました。新体制での一層の活発化、透明性の確保に向け取り組んでいるところです。

昨年12月議会だよりにおいて、交通手段などに関するアンケートをお願いしております。議会議員一同、議会をより身近に感じて頂けるよう、より良いまちづくりに向けた働きかけに邁進してまいりますので、町民の皆さまにはご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年は町制施行50周年となります。記念すべき年が、上里町並びに町民の皆さま方にとりまして、実り多き最良の年となりますことを心よりご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和2年の主な取り組み

- 元・上里町長相川武雄氏に名誉町民の称号を授与
- 会計年度任用職員制度開始
- 特別定額給付金事業の実施
- 町内10か所の公共施設で無料Wi-Fi接続サービス開始
- 第2期上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- 上里町立空の杜保育園開園
- 高齢者おでかけサポート事業開始
- 東京2020オリンピック聖火リレートーチの巡回展示開催
- 防災行政無線の内容を聞き直せる電話応答サービス開始
- こむぎっちプレミアム付商品券（プレミアム率50%）販売

「選ばれるまち、住み続けたいまち」

令和3年に推進する主な取り組み

- 町制施行50周年を記念し、町民の皆さまと共に未来に向かって歩む記念事業を実施します。
- 将来を見据えた土地利用計画として、立地適正化計画を策定し、有効な土地利用による持続的な町の発展を目指します。
- 児玉工業団地アクセス道路やリバーサイドロードなどのインフラ整備を推進し、町の産業や観光事業の発展を目指します。
- 学校教育施設の改善を検討し、教育環境のさらなる充実を目指します。

